

成田空港を活用した経済活性化戦略

パワーアップ! 「30万回ビジョン検討プロジェクトチーム」



成田空港発着枠30万回化で広がる可能性

従来の位置づけ

首都圏のゲートウェイとしてのナリタ

主に都心へ人・物・財が流れる

航空・空港を取り巻く環境の変化
(オープンスカイ化の進展・LCCの台頭・
ビジネスジェットの普及)
成田空港への広域アクセス整備の
進捗(スカイアクセスの開通・圏央道等
整備の進捗・アクアライン料金引下げ社会
実験)

年間発着枠
30万回化の合意

もたらされる変化

- ★航空運賃の低下、就航都市の拡大によるハブ機能強化
- ★新たな航空企業の立地
- ★LCCの新規需要の掘り起こし
- ★ビジネスジェット対応の強化
- ★国内線拡充による全国から/へのアクセス向上

期待される将来の姿

- ★国際・国内ネットワークの充実による旅客・貨物の増加
- ★航空・空港関連産業のさらなる集積
- ★観光・ビジネス以外の新たな旅スタイルの創出
- ★国際ビジネスのスピード化
- ★国内線の拡充による国内旅客の増加・県民利便性の向上
- ★空港を中心とした交通インフラの充実(圏央道等の供用やアクアライン800円恒久化、公共交通アクセスの充実)

新たな可能性

新しく成田空港を中心とした広域的な人・物・財の流れの創出

可能性の実現のためには

- 新たな動きを活用した広域的な経済活性化方策
- 新たな需要に応えるインフラ整備（交通アクセスなど）
- さらなるネットワーク・空港機能の充実
- 可能性の実現のための官民一体となった活動

脅威

アジア空港間競争の激化
東日本大震災
歴史的な円高
欧州ソブリン危機



成田空港を活用した経済活性化のための4つの戦略

戦略1: 30万回化で拡大する人・物・財の流れを活かす

- ① ビジネス・観光の目的地（集客施設や観光地、展示会・会議など）の育成や魅力向上に取り組む
- ② 成田空港という優位性を活かした産業振興に取り組む
- ③ 国内線を積極的に活用する仕組みを作る

戦略2: 県内外と成田のスムーズな人・物の流れを強化する

- ① 新たな顧客である国内線利用者の利便性を向上させる
- ② 空港から県内外への交通アクセスをさらに充実させる

戦略3: 成田空港をはじめとした千葉県のさまざまな「宝」を積極的に発信していく

- ① 千葉の魅力を国内外に広く発信していく
- ② 成田空港のアクセス向上・機能充実をきちんと知ってもらう

戦略4: 成田空港の活用に向けて総合的に取り組む

戦略1：30万回化で拡大する人・物・財の流れを活かす

① ビジネス・観光の目的地（集客施設や観光地、展示会・会議など）の育成や魅力向上に取り組む



方向性

- 空港に近い優位性を活かした国際会議、展示会などの誘致を推進する
- 成田国際空港都市と成田市以外の国際会議観光都市（千葉市・木更津市・浦安市）の連携によって各都市の魅力を高め、MICE誘致を図る
- 国際空港である成田空港を活かしたインバウンド観光を促進する
- 新たな集客施設の設置可能性について検討する

広域活性化部会

施策の状況・今後の検討事項

- 成田空港周辺にビジネス・エンターテインメントの両機能を有する複合観光施設の導入可能性調査の実施
- 国際会議の積極的誘致
- 国際会議開催補助金の充実
- 幕張メッセにおけるITやエンターテインメント系などの新たな分野での展示会の誘致
- 外国人の来訪促進のためのプロモーション・情報発信の実施

国際会議開催状況（JNTO国際会議統計）

順位	都市名	件数	主な会議会場
1	東京都	510	東京大学、国連大学、早稲田大学、東京国際フォーラム等
2	福岡県	269	九州大学、福岡国際会議場等
3	横浜市	174	パシフィコ横浜等
4	京都府	160	京都大学、国立京都国際会館等
5	大阪府	152	大阪大学、大阪国際会議場等
6	愛知県	139	名古屋大学、名古屋国際会議場等
7	兵庫県	121	神戸国際会議場、神戸ポートアリーナ等
8	千葉県	103	幕張メッセ、千葉大学等
9	北海道	97	北海道大学、札幌コンベンションセンター等
10	宮城県	74	東北大学、仙台国際センター等
11	茨城県	69	つくば国際会議場、筑波大学等
	日本全国	2,169	

戦略1：30万回化で拡大する人・物・財の流れを活かす

② 成田空港という優位性を活かした産業振興に取り組む



方向性

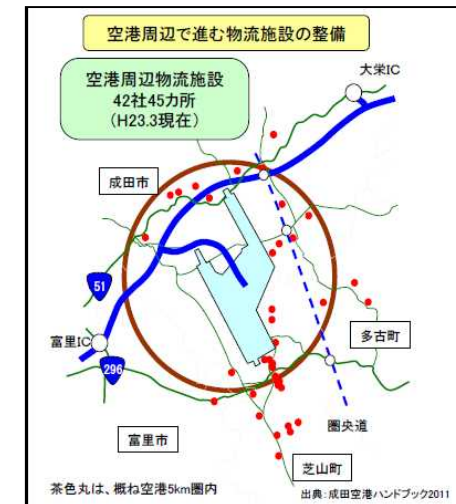
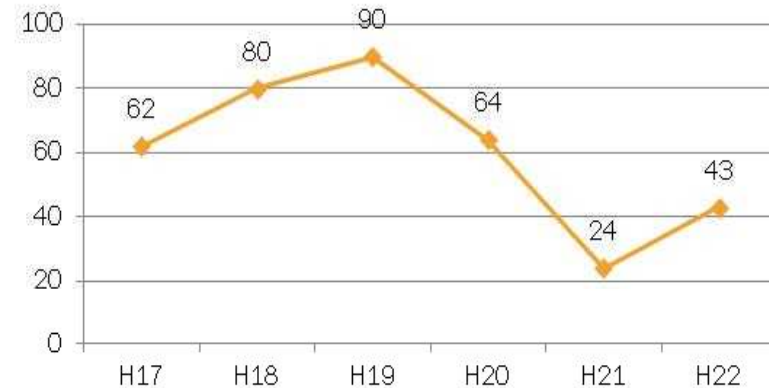
広域活性化部会

- 空港周辺への関連産業集積を進める
 - ・ エアライン・食品・高付加価値部品・物流などの関連産業の集積を目指す
 - ・ 圏央道沿線などの立地優位性の高い地域における工業団地整備を行う
- 規制緩和など、ビジネス環境整備を進める
- 県内企業の海外展開を進める

施策の状況・今後の検討事項

- 規制緩和や総合特区制度の活用等によるビジネス環境整備策を検討
- 空港周辺用地の活用促進について検討
- 新規エアラインの誘致
- 県内中小企業の海外展開の支援

県内への企業立地件数



戦略1：30万回化で拡大する人・物・財の流れを活かす

③ 国内線を積極的に活用する仕組みを作る



方向性

国内線活用部会

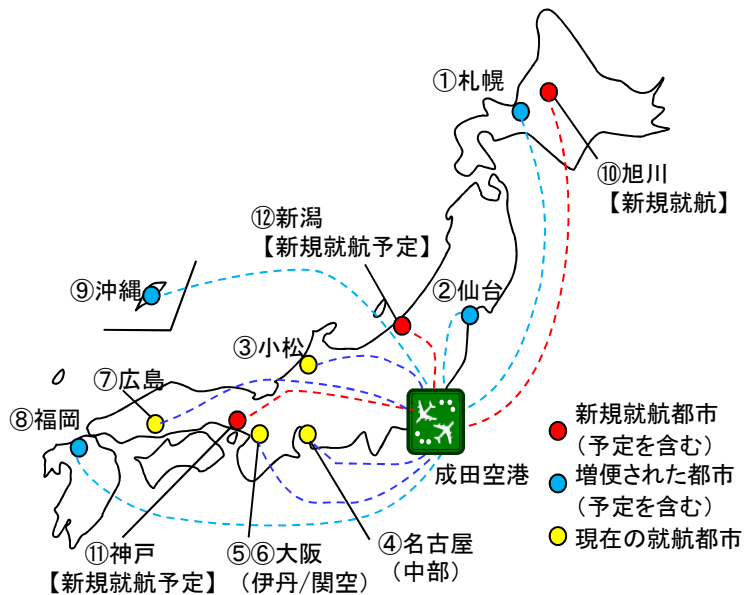
- 国内線利用者を県内観光地へ誘導する
 - ・新たな観光需要の掘り起こし
 - ・県内観光地への交通アクセスの向上
 - ・観光資源の掘り起こし・観光ルートの開発・受け入れ態勢の整備
- 国内線利用者の利便性の向上を目指す
 - ・成田空港の国内線エリアのサービス施設の充実
 - ・ビジネス需要への対応強化
- 国内線の利用促進を図る（国内線の維持・強化）
 - ・国内線需要の創出に取り組む

施策の状況・今後の検討事項

- 国内線需要の創出のため、成田空港の国内線を利用した旅行商品等の企画の検討（成田発・着の双方向）
- 国内線就航先との連携強化（修学旅行などでの連携した取り組みや双方向でのPR）
- タクシーやレンタカーを利用しやすい環境の整備（案内板の充実など）
- 千葉県産品等の取扱いによる県のPR
- ビジネス機能の検討

参考: 成田空港の国内線の状況

成田空港の国内線の推移



就航路線	H23年 3月末	H23年 10月末	H23年 12月8日	H24年2月1日		H24年 3月中	H24年 4月中
				提供座席数 (推計) ※1機平均			
① 札幌	5往復	6往復	6往復	7往復	150	7往復	7往復
② 仙台	2往復	2往復	2往復	2往復	60	2往復	3往復
③ 小松	2往復	2往復	2往復	2往復	50	2往復	2往復
④ 中部	6往復	6往復	6往復	6往復	160	5往復	5往復
⑤ 伊丹	4往復	4往復	4往復	4往復	210	4往復	4往復
⑥ 関西	1往復	1往復	1往復	1往復	140	1往復	1往復
⑦ 広島	2往復	2往復	2往復	2往復	60	2往復	2往復
⑧ 福岡	5往復	6往復	6往復	8往復	150	8往復	8往復
⑨ 那覇	2往復	2往復	4往復	4往復	190	4往復	4往復
⑩ 旭川	—	2往復	3往復	3往復	170	3往復	3往復
⑪ 神戸	—	—	—	—	—	2往復	2往復
⑫ 新潟	—	—	—	—	—	1往復	1往復
合計	29往復	33往復	36往復	39往復	—	41往復	42往復



＜国内線の運航会社＞

日本航空・全日本空輸・アイベックスエアラインズの3社に加え、

- ・平成23年10月にはスカイマークが就航
- ・平成24年8月にはエアアジア・ジャパン、
- 24年中にはジェットスター・ジャパンが就航予定

戦略2：県内外と成田のスムーズな人・物の流れを強化する

① 新たな顧客である国内線利用者の利便性を向上させる



方向性

国内線活用部会

- 増加が見込まれる国内線利用者（非乗継客）の利便性向上を目指す
 - ・ 国内線利用者の増を踏まえた県内からの交通アクセスの利便性向上を図る
 - ・ 早朝便対応のための早朝のアクセスについて検討する

施策の状況・今後の検討事項

- 鉄道の接続改善や高速バスの路線開設、運行本数の増加などの検討
- タクシーの活用の検討
- 鉄道（有料特急）及び高速バスの運行時刻の繰り上げの検討
- 警備の質を落とさず検問をソフト化できないかの検討

参考：千葉方面行き空港バス路線

成田空港発	
行き先	便数(成田発)
幕張・千葉	17 (千葉14)
東京ディズニーランド(舞浜)	6
新浦安	8
柏・松戸	4 (松戸1)

羽田空港発			
行き先	便数(羽田発)	行き先	便数(羽田発)
幕張・千葉	47	成田空港	42
東京ディズニーランド(舞浜)	53	蘇我	11
新浦安	18	鎌取・土気・大網	14 (土気・大網13)
柏	13	五井(市原)・東金	23 (東金5)
行徳・市川	10	上総牛久・茂原	7
西船橋・船橋	16 (船橋6)	袖ヶ浦BT・木更津	37
津田沼	28	君津BT・君津	15
稲毛・都賀・四街道	13	君津BT・館山	4

戦略3：成田空港をはじめとした千葉県のさまざまな「宝」を積極的に発信していく



① 千葉の魅力を国内外に広く発信していく

方向性

- 「千葉ブランド」を確立し、千葉の魅力を発信していく
 - ・ 地域と一体となった魅力の発掘・ブラッシュアップに取り組む
 - ・ 海外向けの情報発信を充実させる
 - ・ 空港での情報発信を充実させる
- 伝えたい相手に応じたきめ細かいPRにより魅力を伝える
 - ・ 対象別のニーズ把握を行う
 - ・ 効果の高い対象へ重点的なPRを行う

情報発信部会

施策の状況・今後の検討事項

- 地域での魅力づくりの促進
- 千葉の食や輸出向け製品のPR・情報発信の検討
- トップセールス、商談会、草の根交流の推進
- 旅行会社や現地メディア等に対するセールス強化
- 公益財団法人フォーリン・プレスセンターの活用
- チーバくん大使による海外への情報発信
- 外国人向け情報媒体の活用・充実

都道府県の魅力度ランキング

順位		都道府県	魅力度
今年(前年)			
1	(1)	北海道	70.7
2	(2)	京都府	53.4
3	(3)	沖縄県	50.3
4	(4)	東京都	40.3
6	(6)	神奈川県	30.6
16	(14)	千葉県	20.9
42	(45)	栃木県	10.3
44	(41)	群馬県	9.8
45	(43)	埼玉県	9.6
47	(47)	茨城県	7.2

戦略3：成田空港をはじめとした千葉県のさまざまな「宝」を積極的に発信していく

② 成田空港のアクセス向上・機能充実をきちんと知ってもらう



方向性

- 国内線の認知度を向上させる
- 空港からのアクセス向上の認知度を上げる
 - ・ 成田空港は遠いとのイメージ・心理的バリアを払しょくする

国内線活用部会

情報発信部会

施策の状況・今後の検討事項

- 充実する国内線のPR強化
- 都心や首都圏各地とのアクセス改善に関する更なる情報発信
- 空港自体を目的地とする旅行商品の開発（教育旅行プログラム等）の検討

成田空港がビジネス客の満足度向上に向けて取り組むべきこと

- ・ 都内主要駅までのさらなる時間短縮（52.3%）
- ・ 首都圏主要都市までのさらなる時間短縮（16.6%）
- ・ 早朝・深夜便の運航（6.1%）（上位3回答）

満足度上位3位の空港と成田空港のアクセス利便性の比較

	空港名	アクセス利便性の満足度(%)	都心からの距離(km)	アクセス交通施設
1位	チャンギ国際空港	74.7	20	高速道路/バス(45分)/タクシー(35分)/鉄道(27分)
2位	仁川国際空港	39.7	50	高速道路 バス・タクシー(60分)
3位	香港国際空港	63.5	34	道路/鉄道(24分)/バス(40分)/高速船(マカオ、深せん)
	成田国際空港	23.4	66	一般道路/バス/タクシー 成田スカイアクセス(最速36分)

千葉県「成田空港ビジネスニーズ調査」(平成22年12月)

戦略4：成田空港の活用に向けて総合的に取り組む



方向性

- 行政はもとより「グレード・アップ『ナリタ』活用戦略会議」の構成員が、それぞれの立場で国内・国際線の誘致活動や公共交通の充実等、成田空港の利便性向上・活性化に積極的に取り組むことが重要。
- そのため、官民一体となった広報や活用キャンペーン、ニーズ等の調査分析、情報交換や総合調整等、関係機関が一体となった多岐にわたる総合的な活用組織が必要となる。

施策の状況・今後の検討事項

官民一体の全県的な支援組織の検討

（例）中部国際空港利用促進協議会の取り組み
訪日旅客や教育旅行の誘致・セントレア発着便利
利用促進キャンペーンの実施・セントレアキッ
ズクラブ活動・地元企業と就航エアラインの意
見交換会の開催・各種調査事業・広報誌の発行
ほか

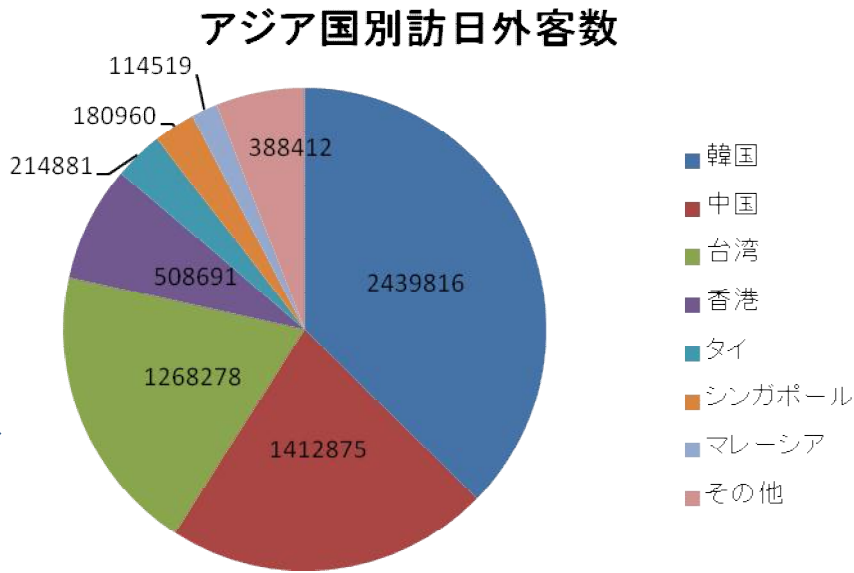
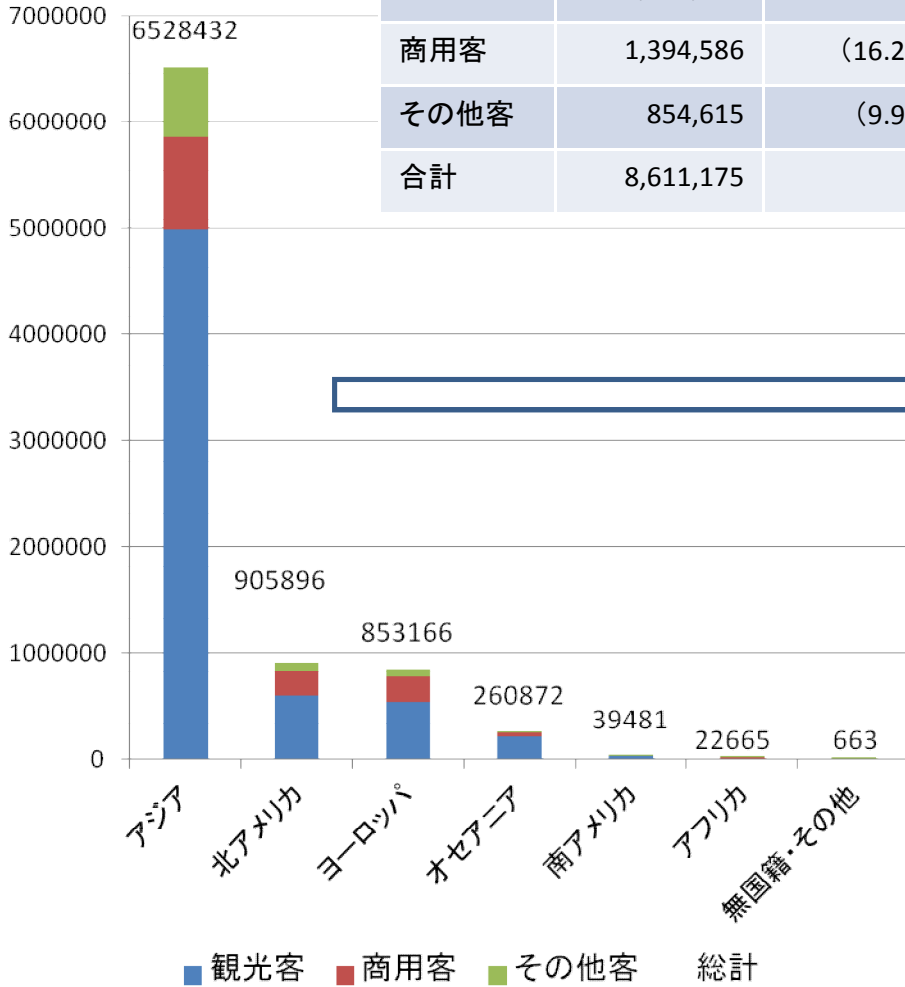
空港利用促進等の支援団体を有する空港

空港種別	支援組織を有する空港 ○ は全体の空港数
会社管理空港	2（3）（成田を含む）
国管理空港	13（20）
特定地方管理空港	3（5）
地方管理空港	15（54）
共用空港	5（7）
その他の空港	3（9）
計	41（98）

（空港地域振興課調べ）

参考資料 1 : 目的別訪日外客数

全体規模	訪日外客数	(構成率)
観光客	6,361,974	(73.9)
商用客	1,394,586	(16.2)
その他客	854,615	(9.9)
合計	8,611,175	



<訪日目的>

- ・訪日外客全体の7割超は観光客となっている。
- ・アジア地域からの訪日外客が多い。
- ・アジア地域を国別にみると韓国、中国、台湾の順となっている。
- ・北アメリカ、ヨーロッパについては、アジアに比べ商用客の比率が高い。

日本政府観光局 (JNTO) 「2010年国籍別/目的別訪日外客数確定値」

参考資料2：訪日外客の都道府県別訪問率（2010）

全体

順位	都道府県名	訪問率
1	東京	60.3
2	大阪	26.1
3	京都	24.0
4	神奈川	17.8
5	千葉	15.0
6	愛知	10.9
7	福岡	9.1
8	北海道	8.8
9	山梨	8.2
10	兵庫	7.6
11	奈良	7.5
12	大分	5.0
13	熊本	4.3
14	広島	4.1
15	栃木	3.6

主要国

国	順位	都道府県	訪問率	国	順位	都道府県	訪問率
韓国	1	東京	44.7	中国	1	東京	80.0
	2	大阪	22.7		2	大阪	51.3
	3	福岡	22.1		3	京都	39.3
	4	大分	14.2		4	神奈川	36.4
		京都	14.2		5	千葉	35.3
台湾	1	東京	42.9	香港	1	東京	55.8
	2	大阪	23.7		2	大阪	20.9
	3	京都	18.6		3	北海道	18.8
	4	千葉	15.3		4	千葉	13.1
	5	神奈川	13.0		5	神奈川	11.6
米国	1	東京	66.7	英国	1	東京	79.2
	2	京都	25.2		2	京都	25.6
	3	神奈川	20.9		3	大阪	17.0
	4	大阪	16.2		4	神奈川	16.0
	5	千葉	10.5		5	千葉	9.5

出典：JNTO訪日外客訪問地調査2010

参考資料3：観光客が訪日前に期待したこと

国	期待の対象		率	国	期待の対象		率
全体	1	食事	62.5	韓国	1	食事	53.1
	2	ショッピング	53.1		2	温泉	46.0
	3	歴史的・伝統的な景観・旧跡	45.8		3	ショッピング	40.8
	4	自然、四季、田園風景	45.1		4	歴史的・伝統的な景観・旧跡	35.6
	5	温泉	44.3		5	都市の景観・繁華街の賑わい	31.1
中国	1	自然、四季、田園風景	63.6	台湾	1	自然、四季、田園風景	64.4
	2	ショッピング	59.1		2	食事	62.3
	3	温泉	51.3		3	ショッピング	56.7
	4	食事	45.8		4	温泉	49.4
	5	都市の景観・繁華街の賑わい	39.1		5	歴史的・伝統的な景観・旧跡	47.6
米国	1	食事	80.4	英国	1	食事	79.3
	2	歴史的・伝統的な景観・旧跡	72.4		2	歴史的・伝統的な景観・旧跡	77.0
	3	日本人との生活、日本人との交流	56.1		3	都市の景観・繁華街の賑わい	58.7
	4	ショッピング	53.4		4	日本人との生活、日本人との交流	55.4
	5	日本の伝統文化の体験・鑑賞	47.8		5	ショッピング	54.5

出典：JNTO訪日外客訪問地調査2010

参考資料4：県内の幹線道路の整備状況



参考資料5：成田空港アクセス図



成田空港発着 バス路線

東京都	20路線以上
	東京駅、池袋、新宿、品川、T-CAT、渋谷、臨海副都心、羽田空港、立川、吉祥寺、八王子など
千葉県	4路線
	TDL、新浦安、幕張・千葉、柏・松戸
埼玉県	6路線
	大宮、新越谷、川越、所沢など
北関東3県	6路線
	潮来・水戸・日立、つくば・土浦、宇都宮、高崎・前橋など

参考資料6：成田空港鉄道アクセス

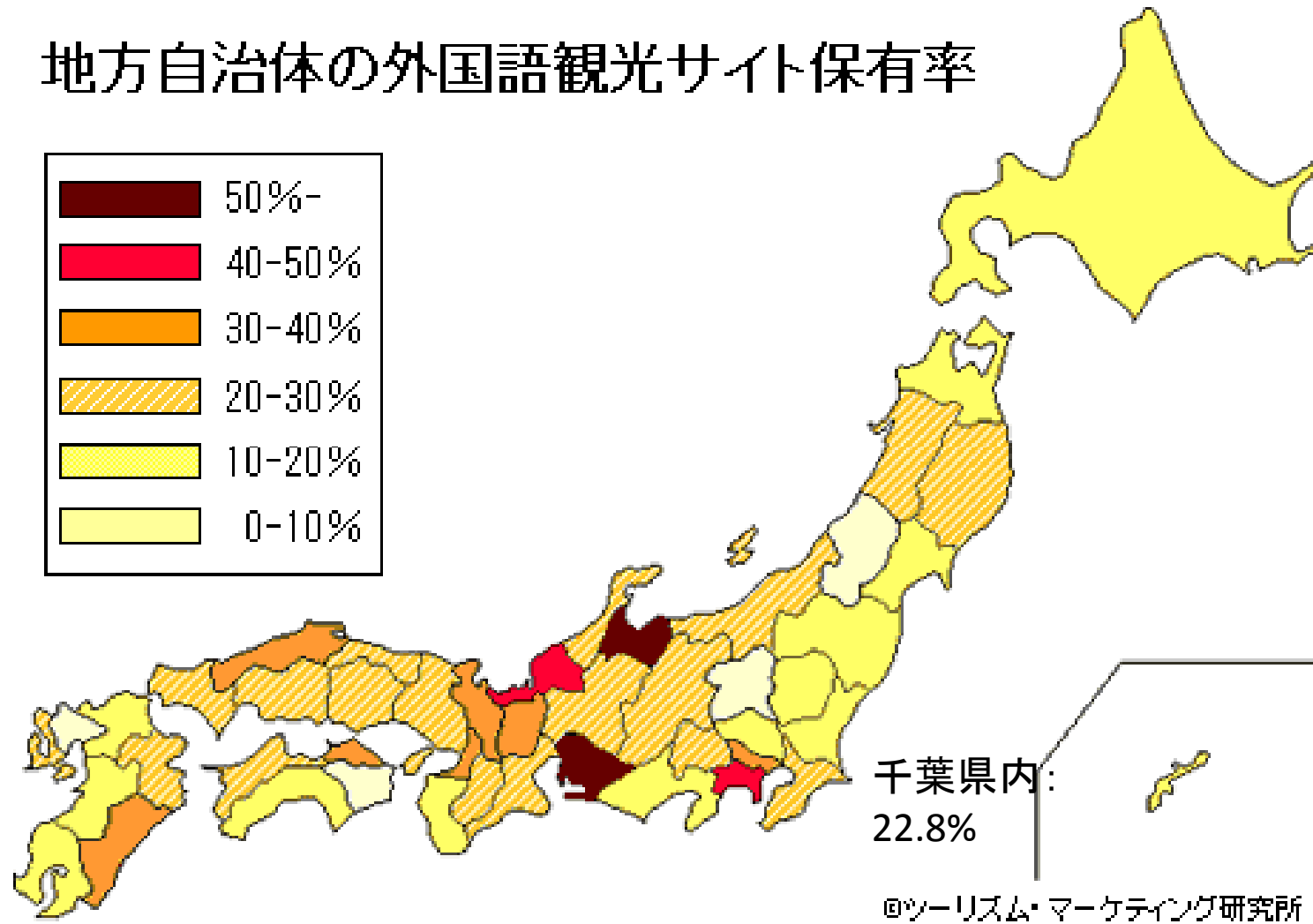
		運行本数	始発電車		所要時間
			東京都内 (発)	空港第2ビル (着)	
JR	成田エクスプレス	下り:27本 上り:27本 ※1時間2本	5:14(高尾) 5:55(新宿) 6:18(東京)	7:15	(東京－空港第2ビル) 最速50分
	快速・ エアポート成田	下り:19本 上り:19本 ※1時間1本(夕方2本)	5:04(東京)	6:28	(東京－空港第2ビル) 1時間30分程度
京成	スカイライナー (スカイアクセス経由)	下り:26本 上り:28本 ※1時間2本	6:30 (上野) 6:35(日暮里)	7:11	(日暮里－空港第2ビル) 最速36分
	アクセス特急 (スカイアクセス経由)	下り:26本 上り:25本 ※1時間1～2本	5:39 (品川) 5:53(日本橋) 6:15 (高砂)	6:53	(日暮里－空港第2ビル) 1時間程度 (日本橋－空港第2ビル) 1時間10分程度
	京成本線	下り:56本 上り:53本 ※1時間3本	5:03(高砂)	6:18	(日暮里－空港第2ビル) 1時間15分程度 ※特急

参考資料7：千葉の魅力の例

歴史遺産	加曽利貝塚、神社仏閣（成田山、香取神宮、誕生寺）
文学芸術	更級日記、国木田独歩、伊藤左千夫、菱川師宣、青木繁
施設等	成田空港、東京湾アクアライン、TDR、幕張メッセ
農林水産物	落花生、イセエビ、なし、大根、枝豆
スポーツ	ロッテ、レイソル、ジェフ、シーガルズ、ジェッツ、サンフラワーズ
日本・世界初	酪農、サツマイモ栽培、民間航空、本格的コンベンション施設、人工海浜
日本3大	朝市（勝浦）、うちわ（房州）、日本水仙生産地（房州）
各種100選	名水、日本の棚田、森林浴の森、日本の道

参考資料8：自治体の外国語観光サイト保有率

地方自治体の外国語観光サイト保有率



出典：ツーリズム・マーケティング研究所
「自治体における、観光サイトの国際度（外国語対応）実態調査まとめ」2006年10月